

第3回尾張旭市総合計画審議会（全体会） 会議録（案）

1 開催日時

令和5年9月22日（金） 午前10時から11時55分まで

2 開催場所

尾張旭市役所南庁舎3階講堂2

3 出席委員

鈴木 厚子、荒谷 弘美、森 喜美、佐藤 庸子、高橋 芳江、星野 幸子、
フロルデリスゴメス 佳子、岡崎 信久、松宮 朝、伊藤 雅一、三浦 哲司、
加藤 千晴、山本 恵美子 13名

4 欠席委員

朝見 政広、杉本 祐也 2名

5 傍聴者数

0名

6 出席した市職員等

企画部長 松原 芳宣、企画課長 谷口 洋祐、課長補佐 寺尾 綾、
政策企画係長 田中 広樹、政策企画係主査 北川 歩、
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)名古屋（MURC） 佐々木 雅一

7 議題等

- (1) 各部会の調査審議結果の報告
- (2) 重点パッケージに関する調査審議
- (3) 施策別指針のレイアウトについて
- (4) 施策別指針の指標に関する調査審議
- (5) 総合計画審議会全体会（第1回及び第2回）の意見等について
- (6) 意見等の取扱い及び答申書のまとめ方について

会議の要旨

企画部長	<p>本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、ただいまから、尾張旭市総合計画審議会第3回目の全体会を開催させていただきます。</p> <p>本日は、尾張旭市小中学校PTA連絡協議会の朝見委員と木材・木造建築物学生会MOKKOの杉本委員から欠席の御連絡をいただいておりますので15名中13名の御出席となっておりますことをお伝えさせていただきます。</p> <p>また、本日も、企画課の職員のほか、本市の総合計画の策定を支援いただいている三菱UFJリサーチ&コンサル</p>
------	---

	<p>ディング株式会社名古屋の佐々木様に同席いただいておりますので、御紹介させていただきます。</p> <p>3月から始まりました本審議会も回を重ね実施していただき、段々と涼しい季節となってまいりました。この間に全体会を2回、各部会を3回と闊達な御議論を重ねていただきましてありがとうございます。</p> <p>本審議会も予定としましては、本日を含め、あと2回となります。12月に招集される市議会には、調査審議をいただいております第六次総合計画のうち、「基本構想」の部分を議案として提出していきたいと考えております。よりよい計画となるよう、本日も御審議いただけますと幸いです。</p> <p>それでは伊藤会長よろしく申し上げます。</p>
伊藤会長	<p>本日は、第3回目の全体会を招集しましたところ、皆様御多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>先ほど企画部長からもございましたが、この総合計画審議会については、本日を含めてあと2回となります。</p> <p>3月に市長から諮問をいただき、全体会・部会で多くの意見を出していただきました。部会の御意見を数えましたところ、188件にも上る御意見をいただいております。本日は、次回予定している答申に向けて、情報共有や第3回の各部会で事務局から説明のありました「重点パッケージ」について調査審議していくこととなりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、お手元に配付しております次第に従って進めますので、よろしく申し上げます。</p> <p>早速、議事に入ります。</p> <p>まず、議事の(1)の「各部会の調査審議結果の報告」を進めて行きます。</p> <p>各部会の調査審議結果を各部部长から、報告していただきたいと思っております。まず第1部会の松宮部部长から御報告をお願いします。</p>
松宮委員 (第1部会部部长)	<p>お手元の資料12-1を使用して御説明します。</p> <p>第1部会は資料の冒頭にありますように、7月6日、7月27日、8月23日の3回にわたって検討してまいりました。非常に活発な議論をいただきました。</p> <p>まず、部会総括としましては、資料の2のとおり、基本的に大きな修正点、疑義はなく、全体の方向性としては、最初の案を基に進めていただきたいというのが部会としての総意となっています。</p> <p>全体的な点で申し上げますと、全体会でも出ていたこと</p>

かもしれませんが、尾張旭市独自の魅力や、強みといった部分がある程度出してはどうかといった意見がありました。課題や問題点はもちろん重要ですが、魅力や既に取り組んで進めている部分を出してはどうかというものが、全体を通していただいた意見の中で重要な点かと思えます。

また、レイアウトに関しては、全体会とも関連すると思えます。全体会のほうで取りまとめたいただければと思いますので、割愛します。

資料 1 2 - 1の別紙をご覧ください。1の基本構想（素案）については、先ほど申し上げましたように、全体としては、魅力等の部分、例えば森林公園等の活用やかかりつけ医が多いなど、そういった「良さ」をさらに伸ばしていくというところを加えていけばどうかという御提案をいただきました。

次に2の基本目標及び施策別指針については、多岐にわたるため、重要な点だけを御報告させていただきます。

まず、(1)施策1-1について、これは他の点にも関連しますが、近年問題となっている、例えば若年層の妊娠の課題であるとか、後ほど出てきますがヤングケアラーの問題など、割と近年クローズアップされている問題を計画の該当部分に盛り込んで、課題として追加してはどうかという意見がありました。

(1)の3つ目の項目、「人材の育成や活動の活性化」というところで、人材は、地域に関わるそもそもの人や地域のつながりのような基礎的な部分を重視するというポイントを強調するような形で、あるいは積極的に推進する形で文言を追加してほしいという御意見がありました。これは、健康づくりだけに限らず全体に関わってくるかと思えます。

その他に、施策1-3や施策1-4に関わる部分で、いわゆる職員、福祉に関わる職員や担当者といった人材を育成して、現在問題になっている人材不足に対応するような内容を、より強調する形で進めてほしいといった御意見をいただきました。これについては、個別の問題についても該当しますが、第1部会全体で指摘された重要な意見です。

次に、施策1-2については、医療機関の充実を尾張旭市としては、もっと打ち出していくべきだろうという意見

	<p>がありました。それを分かりやすく伝わる形で、計画に反映できればいいのではないかと思います。もちろん、新たな課題に対応するような文言も追加して欲しいというところは、1「基本構想」に関わる部分かと思います。</p> <p>次に、別紙の2ページ、施策1－5を御覧ください。先ほど申し上げましたが、互いに支え合うというのが多く出てくる文章となっています。そもそも近隣の関係、コミュニティに関わる関係に対して、1番の根本になるところですので、この部分をしっかりと強調する形で計画に盛り込んではいかがでしょうか。そして、それに関わる団体、例えばPTAや、移動販売等のサービス、買い物難民と呼ばれるような、フードデザートと呼ばれるような問題に対して、地域として取り組んでいく姿勢をさらに具体的に示してほしいという意見がありました。</p> <p>2・3ページの(6)～(8)が「子ども」に関する施策となります。子育てについては、全体会でも非常に重視されているということですので、ここの項目が比較的少ないため、全体のバランスを埋めるように、さらに追加してほしいという意見がありました。もちろん3ページにあるように施策2－3にあるヤングケアラー、あるいは、それに関わるスクールソーシャルワーカー等の充実といった支援の在り方、これについても非常に強く意見としていただいたところでは、以上となります。</p>
<p>伊藤会長 (第2部会部会長)</p>	<p>続きまして、第2部会の報告させていただきます。</p> <p>資料12－2を御覧ください。第2部会の審議対象は、都市整備、教育、環境の部門となります。</p> <p>部会については、7月7日、8月1日、9月12日の3回開催しました。</p> <p>資料の2の部会総括について、まず、基本構想については、大きな修正点や疑義はなく、全体的に概ね適切であろうという評価をしております。基本構想の中で、まちづくりの基本方針にある言葉や方向性については、当然のように施策別指針の基本方針になるものですので、施策別指針にも浸透させる必要がある。さらには、基本目標と施策別指針に関する御意見、提案については、前向きに取り組んでほしいと思います。</p> <p>また、第1部会でもありましたけれども、冊子レイアウト</p>

トを作る際には、市民が読みやすいように工夫をしてほしい。以上が部会総括となります。

次に別紙の1ページ、まず基本構想の素案について、「人」にフォーカスして計画を策定していることが評価できる、緑を大切にしてほしい、それから、「幸せつむぐ」と「笑顔あふれる」が同じような言葉であるため、それがどうなのか、さらに、基本目標4について、カーボンニュートラルやコンパクトシティなどは、今後も必要とされるまちづくりの考え方となるので、こういった言葉を施策別指針にも反映してほしいという意見となります。

続きまして、2の基本目標及び施策別指針については、複数の委員から指摘された内容を中心にお話をしたいと思います。

まず、基本目標3教育の部分になりますけれども、2ページ目の(4)の2つ目から4つ目の項目について、スポーツ施設の整備に関して、老朽化した施設の整備、あるいは小中学校の体育館の利活用、さらには、整備や管理だけではなく利用促進をより進めてほしいというような意見がありました。

次に(5)施策4-1「魅力ある都市環境の整備」について、3ページの上から2つ目から5つ目の項目で、公園についての意見が多く出されています。公園の再整備に際しては、学生が意見を出せる機会があると良いや、公園には屋根のある座れるところがあると良い、さらには、公園都市としてのブランドの充実を図るために、三郷駅前での再開発において、遊具を設置してはどうか、また、既存の公園に対して、遊具の充実など地域の声を届ける場所や、魅力ある公園とは何なのかということをも市民に聴き計画に反映してほしいという意見がありました。

さらに(7)施策4-3「身近な緑・農地・水辺環境の保全」については、3つ目から5つ目の項目にあるように、矢田川河川敷の駐車場の整備や矢田川や天神川などの散歩道の全体的な整備、さらには、川辺の散歩道や山辺の散歩道が今後のまちづくりの非常に大きなポイントになるので、よりしっかりと書き込む必要があるという意見がありました。

次に4ページに移っていただきまして、(9)施策6-1「地球温暖化対策の推進」について、本日の新聞で国連が気候野心サミットを開催したという記事がありました。

	<p>気候変動対策については、かなりハードルが高いので、様々な取組をしていく必要があります。まず、2つ目から4つ目の意見で、市内の小中学校の屋上への太陽光パネルの設置ですとか、まずは遮熱フィルムや断熱フィルムを設置してはどうかといった意見があった外、行政が自ら省エネルギー化に積極的に取り組んでいる姿勢を見せる必要があるという御意見もありました。さらには、4ページの1番最後の項目では、尾張旭市も地球温暖化対策実行計画に区域施策編を策定し取り組んでいく必要があるといった意見がありました。</p> <p>5ページのその他については、部会総括の4点目の意見にあるレイアウトに関する意見がかなり多く出ていました。</p> <p>最後に、部会の各委員の御立場から、教育や農業振興、学生参加について御意見をいただいています。これは個別に続けられていますので、この辺りの意見が積極的に示されたということを最後に付して、第2部会の報告を終わります。</p>
伊藤会長	<p>続きまして、第3部会の報告について、三浦部会長からお願いします。</p>
三浦委員 (第3部会部会長)	<p>お手元の資料12-3を御覧ください。 資料に沿って御説明していきます。</p> <p>第3部会は、7月から8月にかけて3回にわたり、検討を重ねてきました。</p> <p>担当した部分は基本目標5「人とふれあい安心して暮らすまち」、基本目標7「笑顔と活力があふれるまち」、基本目標8「未来につながる行政経営」となります。</p> <p>全体的な総括としましては、お示しいただいた今回の素案に関しては、大きな修正等はなく、全体的に了承ができるというような意見でまとまっています。ただし、様々な角度から部会の委員の皆様から意見が出ておりますので、その辺りを是非とも受け止めて反映できるところは反映してもらいたいとしております。具体的には、企業との連携ですとか、あるいは自治会や町内会の在り方をどうするかといったところです。</p> <p>それでは、各論に行きたいと思っておりますので、1枚めくっていただきたいと思っております。</p> <p>基本構想について、全体として大きな異論はないですけれども、細かな点でいくつか、こうしたら良いのではない</p>

のかといった意見がありました。表現の問題や、減災というワードを加えてはどうか、あるいは、計画として最後にまとめる時には、「働き手」や「担い手」等の表現は、近年の事情を踏まえて改める必要があるといった意見が出ていました。

続きまして施策別指針については、分量も多いですので、要点をかいつまんで見ていきたいと思えます。

まず、基本目標5「人とふれあい安心して暮らすまち」の部分です。

施策5-1「市民によるまちづくり活動の支援」については、新型コロナウイルスの拡大によって地域のお祭りがなくなったので、それをどうしていくのか、あるいはコミュニティ活動について、様々な活動が色々難しくなった中で、どうしていくのかというところが意見として出ておりました。

施策5-2「防災・減災対策の推進」では、防災中心に記載されているが、減災という発想、視点が薄いのではないのかといった現場目線での御指摘もありました。

施策5-3「消防救急体制の充実」では、消防の広域化を今後どうしていくのかの指針がいるのではないのか、あるいは、尾張旭市の特徴としてAEDが全てのコンビニに設置されているにもかかわらず、活用できるかどうかという部分が心もとないので、その辺りの方向性を示す必要があるのではないのかという意見が出ていました。

2ページを御覧ください。施策5-4「市民生活の安心の確保」では、県警の話ですので難しいところがあるのかもしれませんが、表現について、「幹部交番」といった専門用語が出ていますので、単に「交番」で良いのではないのかといった意見がありました。

続きまして基本目標7「笑顔と活力があふれるまち」で、商工業の振興や就労がテーマとなります。

施策7-1「商工業の振興」では、先ほど松宮部会長からも話がありましたが、買い物難民等の意見も出ていまして、この辺りは、第1部会とオーバーラップするかもしれません。

起業について、周辺市町村では、様々な取組がある中で、尾張旭市としてはどうしていくのかといった意見がありました。

施策7-2「就労支援・勤労者支援」では、地元の人が

地元で働けるような、仕掛けや対応がいるのではないかという意見、あるいはリスキング等新しい動きを踏まえた対応がいるのではないのかといった意見も出ていました。

施策7-3「まちのにぎわいの創出」は、先ほども少し触れましたお祭りや、観光関連の内容になります。特に多かったのが地域の特産品と言いましょか、魅力発信のところ、紅茶やイチジクなどそういったものを生かした取組がもう少しあっても良いのではないかといった意見がありました。

次に施策7-4「多様性社会の推進」では、表現のところで、女性が前向きに出ているのが良いのかといった意見があり、男女を平等に扱っていく表現が望ましいのではないかといった意見ですとか、企業で働く外国籍の方々が増えている中で、そういった方々の日本語対応等の支援についても意見がありました。

次に基本目標8「未来につながる行政経営」については、2つ施策がございます。

一つは「情報発信・利活用の推進」で、情報発信については、広報誌のことが意見として出されました。一方で、様々な媒体がありますので、その辺りも踏まえるといったところも指摘がありました。シティプロモーションにつきましては、市外の方に情報を出すのか、あるいは市内の方に魅力を伝えて郷土愛を高めてもらうのか、その辺りのバランスが重要という意見がありました。

次に、施策の8-2「行財政運営の推進」です。ここでは、国がDX、デジタル化を岸田政権になり力を入れ、デジタル庁が発足していますけれども、国が動いたから尾張旭市として動こうではなく、むしろ市として率先して動くような姿勢が必要ではないか。この辺りの記述が国の動きがあるからそれに従ってやるという表現になってしまっているため、この辺りを改めてはどうかといった意見、あるいは、DXに関しては、行政内部の職員の方々のDXによる仕事の効率化という側面と、対市民サービスにおいて、証明書の発行等をデジタル化するというサービス面での考え方がありますので、その辺りの両面を意識する必要があるという指摘がありました。

最後になりますが、4ページを御覧ください。

こちらは、第1部会、第2部会のデザイン、レイアウトというところと共通するかもしれませんが、全体的に表記

	<p>の話や見栄えの話等、その辺りも是非とも検討してくださいといった意見がありました。</p> <p>簡単ですが以上となります。</p>
伊藤会長	<p>ただいまの報告では、ヤングケアラーや買い物難民等様々な社会課題に直面する中での計画となることが分かりました。報告内容につきまして、御意見などがあれば伺いたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
森委員	<p>表現について、第2部会の報告の別紙4ページの(9)施策6-1「地球温暖化対策の推進」の下から2つ目の意見について、「「自動車に限らず」については」とあるが、素案には、「自動車に頼らず」とある。記載誤りではないか。</p>
伊藤会長	<p>原案は、「自動車に頼らず」となっています。これから国際的にエコカーの推進が見込まれます。自動車に頼らないといったことではなく、ここに記載のある水素や電気等のエコカーがあるため、自動車に頼らないといった説明の表現では不十分ではないかといった意見でした。</p>
政策企画係長	<p>資料12-2の記載が素案に「自動車に限らず」と記載があるようにも読み取れる表現となっているため、伊藤会長の御説明の意図が伝わるように修正させていただきます。</p>
伊藤会長	<p>他にはいかがでしょうか。</p>
	<p>(意見なし)</p>
伊藤会長	<p>続きまして、議事の(2)「重点パッケージに関する調査審議」に移りたいと思います。</p> <p>本議事事項については、各部会の第3回会議において、事務局より説明を受けているかと思っておりますので、内容の確認や御意見等がありましたら御発言いただきたいと思います。</p> <p>これに関して企画課から説明をお願いします。</p>
政策企画係長	<p>(資料11) 重点パッケージ(素案)に基づき、説明)</p>
伊藤会長	<p>ただいま企画課から改めて重点パッケージについて説明がありました。</p> <p>皆様から何か質問等があれば御発言をお願いしたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>重点パッケージの素案については、パッケージの要素が示されていると理解しています。総合計画に位置付けられた各部門の計画を分野横断的に進めて行くための要素だと思っております。</p>

	<p>2 ページ目には、「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加えるとありますが、イメージ的には、暮らしやすい舞台を作った上で、「楽しさ」を市民の皆さんが演じていくというイメージになると思います。レイアウトの仕方によってパッケージの捉え方が変わってくるし、より迫力あるパッケージになるかと思います。</p> <p>そういったところを工夫してほしいと企画課に伝えていきます。</p>
三浦委員	<p>5 ページの「まちに対する愛着や誇りの形成」の1 項目目に1-1-5 「市民協働による健康づくりの推進」があります。確かに市民協働での健康づくりについては、愛着や誇りにつながると思いますが、「健康づくり」となるとやはり2 ページの3 項目目「暮らしの質の向上」の方が良いのではないかと思います。</p>
企画課長	<p>いただいた御意見について、庁内会議を数回繰り返す中でも非常に悩んだ部分でございます。</p> <p>今回、第六次総合計画でこの新しい仕組みとして設定する重点パッケージについて、4 つの柱建てをしています。この4 つのまちづくりの基本方針がそれぞれ排他関係にあるのではなく、重なり合う部分が相当にあります。その重なり合う部分については、それぞれの項目で再掲するか、どちらかのみに入れていくのかそういったところを内部的に議論して調整してきたところです。</p> <p>ただいま三浦委員から御指摘のありましたように他の部分の方が良いのではないかとといったところについては、内部的には、現在の構成に落ち着いています。今後、毎年策定する実施計画や中間年次の見直し等、そうした場合に「重点パッケージ」がより市民の皆さんに伝わりやすいようにしていくための各要素になりますので、その部分については、計画途中においても柔軟に変更をしていく可能性があります。</p> <p>資料11の1 ページを御覧いただきますと、「重点パッケージに含める「主な取組」は、施策別計画の中間年次などに必要に応じて見直しを行います。」としていますが、ここに掲載しているものの項目間の移動もあり考えられますし、ここに載っていない「主な取組」を将来的に掲載していくことも想定しています。</p> <p>本日いただきました意見につきましては、改めて内部で検討、調整してまいります。</p>

伊藤会長	<p>基本的にはそれぞれの要素を、いずれかのパッケージに位置付けていて、重複して記載はしていないということで良いですか。</p>
企画課長	<p>はい。そのとおりです。</p> <p>さらに補足させていただきますと、主な取組に番号を付しています。例えば2ページの1番上では、「5-2-1 防災体制の充実」がありますけれども、これまで審議していただきました施策別指針の中の「主な取組」を列記しています。</p> <p>全ての施策別指針で、101の「主な取組」があり、その中で、この「主な取組」は、重点的に取り組むべきであるといったものを、101全て掲げるのでは、項目が多すぎるため、内部的に整理した結果、概ね4割程度の「主な取組」を抽出して、重複しない形でまちづくりの基本方針の(1)から(4)に整理しております。</p>
伊藤会長	<p>101ある「主な取組」のある中で、約40を重点パッケージのそれぞれの項目に位置付けたという説明でした。</p> <p>三浦委員からの意見については、(4)に1-1-5が位置付けられているけれども、重複して(1)の「暮らしの質の向上」に位置付けた方が良いのではないかという意見であれば、重複して掲載するという検討もあるという理解で良いですか。</p>
企画課長	<p>重点パッケージとしては、項目間の重複はせずに整理したいと考えています。</p> <p>複数の項目に関わってくる「主な取組」もあり、これまでの検討の中では、特に関係するもの、少し関係するもの等、101の「主な取組」について、内部的には整理しています。</p> <p>それには、総合計画の資料編等としてお示ししていくことを検討しています。</p>
三浦委員	<p>資料11の文面だけ見ていると、ここでも良いのかなと思います。例えば、5ページの8-1-2「愛着と誇りの醸成」については、市内に住んでいる方を対象に郷土愛を深めてもらうという記載に読み取れますが、部会資料3を確認すると「本市の魅力や知名度の向上、愛着や誇りの醸成を図り、定住促進や人口誘導につなげます」とあり、市外に住んでいる人を対象に魅力を発信して尾張旭市に住んでくださいといった記載になっています。そうした場合に、重点パッケージで記載する場所がここで良いのかとい</p>

	ったところを企画課で再度確認してほしいと思います。
企画課長	これまで内部で議論を重ねてきましたが、正解がない部分もありますので、今後、多角的に市が行っていく事業が、どのように市民の皆さんに対して、まちづくりの基本方針に合った形で説明し、共感を得て、一緒になってまちづくりを進めて行けるのかといった中では、今回初めての取組として導入しますので、いただいた御意見をしっかりと今後の内部の議論につなげていきたいと思っています。
三浦委員	指摘があった際に、説明ができるようにしておくべきだと思います。
伊藤会長	他にはいかがでしょうか。
岡崎委員	重点パッケージの位置付けについて、市民の皆さんへの見せ方や見え方はどのようになるのでしょうか。 具体的な施策の記載があって、その後に記載されるのか。基本構想、基本目標の次にこれが記載され、その後に具体的な施策が記載されるのか、どういった位置付けでしょうか。
企画課長	事務局で考えているのは、「計画の策定にあたって」や「計画策定の背景」等の基本的な人口や市の課題等の前文部分を掲載し、その後に基本構想を掲載します。これまでの総合計画では、その後に第六次総合計画で言う施策別指針を掲載してましたが、第六次総合計画では、重点パッケージを掲載した後、施策別指針を掲載したいと考えています。
岡崎委員	重点パッケージの各項目の破線部分は、まちづくりの基本方針から来ていると思いますが、「重点的に実施する「主な取組」」の黒丸の部分はどのように設定しているのですか。
企画課長	黒丸の部分については、破線で囲まれていますまちづくりの基本方針の中から重要な言葉を抽出しています。
伊藤会長	破線の中が、重点的な取組方法になっていて、それを構成する要素が掲載されているということでした。 他にはいかがでしょうか。
松宮委員	2点あります。 1点目が(1)から(4)までについて、横断的に取組を進めて行くプロジェクトや事業があれば、上位に記載したほうが良いと思います。ただ分類しているだけでは、こっこの項目の方が良いのではないかといった議論が出てくるかと思っています。そういったプロジェクトがあって、記載されてい

	<p>るとより良いかと思えます。</p> <p>2点目が、技術的な話になりますが、指標の測定について、現在設定されている指標で測定ができるのか疑問に思えます。「楽しさ」等少し漠然とした指標になっていますので、何か主要な事業やプロジェクトを進めるのであれば、主観的な指標で測るのではなく、客観的に測定できる指標としたほうが良いのではないかと思いました。</p>
企画課長	<p>重点的に実施していく事業やプロジェクトについては、毎年策定する実施計画において、向こう3年間に実施するプロジェクトを掲載していきたいと考えています。</p> <p>現在の素案は、「主な取組」ベースとなっていますので、ややイメージが湧きにくい部分がございますが、かえてその方が、様々な取組を実施計画で具体化できる余地が生まれることもあると考えますので、総合計画の中では、あえて主要プロジェクトを掲載しないような形としております。</p> <p>それから指標につきましては、御意見を参考にさせていただき、指標の追加などについても内部的に検討していきたいと思えます。</p>
伊藤会長	<p>今の御意見を踏まえると、分野横断的にこの重点パッケージを推進するというところで、例えば、2ページの1つ目の黒丸に「安全で安心な生活を送ることができる環境づくり」とありますが、これが恐らく環境づくりのプログラムになると思えます。こういったプログラムを推進する、その構成要素がこの「主な取組」になると、プログラム自体が総合政策になるので、押し出しが強くなるといった理解でもよろしいでしょうか。</p>
松宮委員	<p>はい。そのとおりです。</p> <p>指標について、個別の項目に関しては、設定されている指標で良いと思えますが、重点に設定されているのは、かなり大きなこととなりますので、やはり一つの質問で管理するのは難しい。意識調査で把握できる範囲を超えていると思えます。具体的なプログラムを作り、それが何個達成できました等といった指標としてはどうかと思えます。</p>
企画課長	<p>検討させていただきます。</p> <p>御意見のありました(3)の「子育てしやすいまちと思うか」については、過去にまちづくりアンケートで取得していた経験がありまして、「尾張旭市は、子育てしやすいまちだと思えますか」といった設問で取得していました。</p>

	<p>それ以外の「日々の暮らしに「楽しさ」を感じていますか」といった質問は、今までのアンケート調査で取ったところがなくて、御意見のとおりアンケートの聞き方をどのようにするかやそれを実際の実取組に生かすためには、どういったアンケートにしていくか等、今後、内部的に検討していきたいと思います。</p>
岡崎委員	<p>指標の考え方について、アンケート自体は、毎年取得していくことになるのですか。</p>
企画課長	<p>これまでは、2年ごとにアンケートを実施しておりましたが、今後は、こういった市民の意向については、2年ごとの取得では、大きなトレンドが分かりづらい部分もありますので、もう少し間隔を空けて大きな方向を見ていくような、例えば3年や5年ごとにとっていくことも考えています。</p> <p>アンケートについては、数字だけではなく、自由記述で生の声を伺っていくといったところも市政においては大切なことだと思います。</p>
岡崎委員	<p>3年間やってきたことをアンケートで成果を取得して、それをフィードバックしていくとそれだけで、4、5年経ってしまうといったイメージでしょうか。</p>
企画課長	<p>御指摘いただいている指標は、重点パッケージという市の大きな方向性を見るものです。</p> <p>さらに細かくした指標が各施策に設定されており、こちらは、市民の意向ではなく、より客観的な数で取るものとなりますので、こちらで毎年度進行管理をしながら、大きな方向性については、市民の意向の大きなトレンドを確認しながら、そういった二重の構造で、管理していきたいと考えています。</p>
伊藤会長	<p>メインの指標が重点パッケージに記載があり、サブの指標が毎年進行管理していくということでした</p>
岡崎委員	<p>重点パッケージの指標の方が上位の指標ということかと思いますが。本来は、各施策の成果が上がれば、重点パッケージの成果も上がるものではないでしょうか。</p> <p>そもそも重点パッケージは数値管理していく必要があるのでしょうか。</p>
企画部長	<p>本市の総合計画において、重点パッケージを設けるのは、初めてです。</p> <p>これまでの総合計画では、委員のおっしゃるとおり、600程度の事務事業があり、そこから数百の数値を抽出す</p>

	<p>る構造となっており、それらをしっかり達成していけば、指標に設定している様々な満足度も上がってくるものという考えでおりますが、実際には、これは重点的にしっかりやらなければいけないといったような部分では、各施策の指標が上がっても、この部分が上がらないといったところが見えてきたところもあります。</p> <p>そのため、今回は、4つのまちづくりの基本方針につきましては、重点的に取り組むパッケージを作って、管理をしていく。その管理の仕方については、単に数字が上がるだけではなくて、この指標を上げていくためには、どの数字が関連しているのかといったことをしっかりと見ていきたいということもあります。</p> <p>初めての試みであるために、我々も模索しながら、重点パッケージに挙げたものがどういう関連があるかといったことをこれから毎年、管理していくというよりも、経営していくという視点を意識的にやっていきたいと思っています。</p> <p>重点パッケージに関しては、少しチャレンジ的な意味合いがありますので、我々も、どの施策の成果が向上すると指標が上がるのか。もしかしたら今は上手くいっても、ある程度上手くいったから今度はこちらに力を入れたいなということができるよう、先ほども説明がありましたが、中間年次では、重点パッケージの中身自体も、見直していきえるように取り組んでいくことを予定しています。</p> <p>このため、重点パッケージについては、どのように市民の満足度に現れるのかなどといった点も含めて少しチャレンジ的な部分がありますので、そういった視点で応援していただけると助かります。</p>
岡崎委員	<p>気を付けなければいけないのは、各部、各課は、それぞれの施策を達成するために、活動、行動を行うこととなりますが、重点パッケージがまとまり、自分たちの目標は達成しているのに、この目標が達成できていない時に、何をどうしていくのが良いのかといったところで、仕事量だけが増えていくようなことが無いようにしないと住民サービスの低下につながることも懸念されるのではないのでしょうか。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。</p>
	<p>(意見なし)</p>
伊藤会長	<p>それでは、議事(3)「施策別指針のレイアウトについて」</p>

	<p>に移ります。</p> <p>議事事項について、事務局より説明をお願いします。</p>
政策企画係長	(資料13に基づき、説明)
伊藤会長	<p>ありがとうございます。各部会においてもレイアウトの改善についての意見が出ていました。</p> <p>レイアウトについては、今後市の方でしっかりと検討していくということでしたが、検討するに当たり、意見やこれだけは注意してほしいなど要望があれば、御発言いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>修正イメージの1と2を見て、1はすごく分かりやすくなったと思います。「めざす姿」を左側のページに掲載するとどうしても右側のページに空間が空くなど思っていました。</p>
荒谷委員	資料13は、A3で作成しているが、これは、冊子の見開きのイメージで良いですか。
政策企画係長	はい、そのイメージです。
三浦委員	<p>冊子で見た時は、こういったデザインで良いと思いますが、ホームページ上に掲載する際には、A4縦で掲載されるのでしょうか。それとも、大学のパンフレット等のように見開きで掲載されるのでしょうか。</p> <p>そういった議論はされているのでしょうか。</p>
企画課長	<p>これからは、ウェブ上で見る人が多いと思います。そうした中で、PDFのA4版でレイアウトしてしまいますと、見開きのレイアウトが崩れてしまいますので、そういったことにならない工夫をしていきたいと思っています。</p>
森委員	<p>部会資料3のレイアウトで、「現状と課題」に「主な取組」の番号を「1-1-1」等と記載するだけで分かるのではないのでしょうか。パソコンで見ると、「めざす姿」、「主な取組」があって、次のページに「現状と課題」があることになる。</p> <p>指標についても、素案にあるように、まとめて掲載したほうが良いと思います。</p>
企画課長	ただいまの御発言は、比較的原案のレイアウトで番号を入れるだけの方が良いのではないかという御意見でした。
伊藤会長	<p>それでは、レイアウトについては、これまで全体会や部会でも意見が出ておりますので、これらを踏まえて、企画課で検討していただきたいと思っています。よろしくをお願いします。</p> <p>続きまして議事事項(4)「施策別指針の指標に関する調査</p>

	<p>審議」に移ります。</p> <p>企画課より説明をお願いします。</p>
政策企画係長	(資料14)に基づき、説明)
伊藤会長	<p>ただいま指標について、説明がありました。</p> <p>皆様各施策の調査審議をしていく中で、この指標がなければ、この施策に記載のある「主な取組」をどの程度進めるのかといった部分が不明確であったかと思えます。</p> <p>そういった意味では、これまで部会で議論してきました各施策に本日のこの指標一覧の基準値、目標値が入って明確になる部分もあると思えます。</p> <p>それでは、ただいまの説明について、お気づきの点や質問、御意見等ありましたら御発言をお願いしたいと思います。</p>
森委員	素案から単位が変わっている項目がありますか。
政策企画係長	はい、キロメートルをメートルに変えているところ等があります。素案に掲載していた単位を、検討を進めていく中で、担当課から変更したいと申出があったもの等です。
森委員	<p>指標名についても、一部修正されているものがあると思えます。例えば、5ページの「下水道水洗化率」とありますが、施策別指針の素案では、「水洗化率」となっていたかと思えます。</p> <p>また、7ページの「修繕予定件数（うち定期的、計画的なもの）に対する実施した件数の割合」については、施策別指針の素案では、「修繕予定件数」となっていました。こちらについては、件数から割合に変わっているかと思えます。</p> <p>これらは、変更していくということによろしいですか。</p>
政策企画係長	<p>はい。まず、「水洗化率」については、「水洗化」と言うと水洗トイレにすることといった誤解を生んでしまう恐れがあるため、下水道に接続した率と正確に理解してもらえるよう修正しました。</p> <p>また、「修繕予定件数」の割合にしたところについては、実施状況がより明確に分かるように修正しました。</p>
森委員	もう1つ、6ページの「想定避難者数に応じた食料・飲料水（3日分）の備蓄率」とあり、施策別指針の素案では、「備蓄品目数」になっていました。こちらについても変更するということが良いですか。変更したほうが正解だと思います。
政策企画係長	従来は、品目数を管理していく方が良いのではないかと

	<p>いうところでした。その理由は、備蓄率が100%となっていることは当たり前ではないかという議論の上で、品目数としておりました。ただし、備蓄率を100%に維持していくことが大切ではないかということで指標を修正しています。</p>
森委員	<p>同じページの「通報を受け、救急車が病院に収容するまでの時間」とありますが、こちらについても、「到着するまでの時間」を変更するということが良いですか。</p>
政策企画係長	<p>こちらも修正しております。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。ただいま御指摘のあった指標については、修正していくということでした。</p>
三浦委員	<p>「性質」の項目について教えていただきたいと思えます。「増加」や「減少」、「維持」は分かりますが、「推移」となっているものは、どういうものになるのでしょうか。目標値を設定しないといったことでしょうか。</p>
政策企画係長	<p>「推移」となっている指標については、目標値は設定しないこととしております。</p>
三浦委員	<p>施策別指針の素案では、目標値についても記載するといった表記でしたが、その後の修正で、「推移」となっているものについては、目標値を設定せずにいくということによろしいですね。</p>
政策企画係長	<p>はい。そのため、資料14において、目標値の欄を「-」と表記しております。</p>
三浦委員	<p>「推移」という性格のものも、指標としては載せるということでしょうか。</p>
企画課長	<p>「推移」のものについても載せていこうと考えています。毎年これが増えたのか減ったのかといったことは確認しながら進行管理していきたいと思えます。</p>
三浦委員	<p>資料14の3ページについて、「児童手当の受給者数」が指標となっています。児童手当自体は、国費の話で窓口は市町村ですが、国の制度によるもので、これを指標とすることが妥当でしょうか。市町村として何もできないのではないのでしょうか。</p>
政策企画係長	<p>子育て世帯への経済的支援が「主な取組」となり、「性質」を見ていただきますと「推移」としており、目標値を設定しておりませんので、目標値を設けず、どれだけの受給者数がいつかだけを見ていく指標となります。</p>
三浦委員	<p>市としての施策で何か指標をとということあれば、児童手当を指標に設定する必要はなく、別の指標を設定して推移</p>

	<p>を見えていく方が、今後、施策の兼ね合いとも良いのではないのでしょうか。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。2点目については、「子育て世帯への経済的支援」で何か児童手当以外で市が取り組めることがあるのであれば、そこを指標として設定してはどうかといった御意見でした。</p>
三浦委員	<p>総合計画は、市としてどうするかといった話となりますので、児童手当という国が国費を活用して実施しているものを指標として設定することがスムーズな流れなのかといった整合性のお話です。</p>
企画部長	<p>ここに関しては、確かに国の制度であります。市費も入っており、市として予算的なものを含めてかなり影響が大きい制度となります。</p> <p>数多くある制度の中でも特異なものであり、代表的なものの一つであると考えています。いただいた御意見を踏まえて、担当部局と調整、検討していきたいと思っております。</p>
鈴木委員	<p>指標の内、%で表記したほうが良いのではないかと、思う指標がいくつかあります。</p> <p>例えば、資料14の2ページに障がい者の雇用人数がありますが、国が目標としているのは全体の労働者に対して障がい者が何%としているため、目標値として設定している100人を目指すより%で目標を設定するほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>また、子どもに関する指標についても、子どもの人数が減少していく中で、児童手当の受給者数が何人であるとか、就学の支援を受けている児童生徒数を子どもの人数等、この辺りは「%」で示したほうが将来的にも使えるのではないのでしょうか。</p> <p>子育てのしやすさの指標として「出生率」を見ていっても良いのではないかと、思います。子育てのしやすさとして希望する子どもの数と実際の子どもの数等、国が調査している数字だと思いますので、その辺りの指標を使っていくと国と市との違いなどが分かってくるのではないかと、思いました。</p>
企画課長	<p>御意見をいただ点につきましては、担当課にも伝えながら検討していきたいと思っております。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま指標に対して様々な御意見がありましたので、庁内で検討していただきたいと思っております。</p>

	<p>それでは、続きまして議事事項の(5)「総合計画審議会全体会の意見等について」に移ります。</p> <p>資料15として、これまで全体会で御発言のありました意見や提案について、取りまとめていただいております。こちらについて、発言の意図とは異なる記載となっている部分や、発言したが記載のない意見、あるいは、追加でお気づきになったことなどがあれば、御発言いただきたいと思えます。</p> <p>資料について、企画課から説明があればお願いします。</p>
政策企画係長	(資料15に基づき、説明)
伊藤会長	第1回、第2回で御発言のあった御意見の整理となります。何か御意見等は、いかがでしょうか。
鈴木委員	<p>資料15の1ページの下から2点目に「「自分らしく」を多様性と捉えるとLGBTや独身でいたいという意思の尊重と感じ、一方で「子育てしやすいまち」の魅力を高めます」は家族を想起させる。一見すると相反することが書かれているように感じ、どのように両立させるのかに疑問を感じる」とあります。当初、こういった考えがございましたが、部会で議論をしていく上で、自分の考え方が変わっていき、現在では、しっかりとストーリーが分かるように記載してあれば、両立できるものだと思います。背景やストーリーをしっかりと説明してほしいという記載にしてほしいと思えます。</p> <p>まちづくりの基本方針の(1)「暮らしやすさ」に「楽しさ」を加えます」とあり、そのためには、(2)「自分らしく」を応援します」でそれぞれの多様性等を、(1)のためには、(2)の多様性が必要だと思います。しかし、(3)「子育てしやすいまち」の魅力を高めます」で、(2)の人たちにも(3)を応援してほしい。年収や年金を持たない将来世代を(2)に持って行くためには、(3)を支援していくことが必要なため、(3)を重点的にしてほしい。(2)と(3)の対立を生まないためには、(4)「人とのつながり」を大切にします」にあるとおり人とのつながりを大切にしなければいけないので、ストーリーとしては、つながっているかと思ったので、(2)と(3)は対立するものではないのかなと自分の中で納得できた。そういった意味合いを記載してほしいと思えます。</p>
企画課長	ありがとうございます。第1回、第2回の意見や提案という形で御確認いただいておりますが、いわゆる全体会での意見という形で修正して、答申としてまとめていきたい

	<p>と思います。</p> <p>先ほどの御意見については、「疑問に感じる」で終わっているため、やや言葉足らずな表現となっているため、公表においては、修正をさせていただきます。</p>
三浦委員	<p>公表するという前提での話ですが、資料15の表現に違和感があるため、全体を通して見直して見直していただきたいと思っています。</p>
伊藤会長	<p>表現について、見直していただきたいと思っています。</p> <p>それでは、最後の議事事項となります(6)「意見等の取扱い及び答申書のまとめ方について」に移ります。</p> <p>まずは、事務局より説明をお願いします。</p>
企画課長	(資料16、17に基づき、説明)
伊藤会長	<p>ただいま本審議会で出た「意見等の取扱い」と「答申書のまとめ方」についての説明がありました。</p> <p>順に確認していききたいと思います。</p> <p>まず、資料16「意見等の取扱い及び答申書のまとめ方について」の上段、本審議会の意見等の取扱いについて、</p> <p>この内容としては、これまで、全体会、部会での意見を答申書にまとめて、市長に答申し、その答申を踏まえて、総合計画の最終的な整理をし、案を作っていく。その基本構想を12月議会に提出ということで、かなりタイトなスケジュールで、今後進めて行くということです。</p> <p>この1「総合計画審議会の意見等の取扱いについて」の説明に関して、御意見や御質問、確認事項があれば御発言いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
	(意見なし)
伊藤会長	<p>続きまして、資料16の下段、2「答申書のまとめ方について」、と別紙を含めた資料17の答申書のイメージについて、資料17を見ていきますと、4つの文書が既に書かれています。基本的な計画の着実な推進が1点目、2点目が市民の方から見て分かりやすい計画にしていくこと、3点目が連携と協働、4点目が総合計画の事業を進めていくための、効果的、効率的な行政運営、この辺りは、基本的な事項として抑えた上で、5番目、6番目で、答申として重要な部分を記載していくこととなります。</p> <p>また、資料17の別紙には、会議の冒頭でもお伝えしましたが、数えると188件の意見があり、さらに本日審議会が出された意見を踏まえると恐らく200件を超えることとなりますので、こういった形で審議会の意見が掲載さ</p>

	<p>れることとなります。</p> <p>この件に関して、御意見や御質問、確認事項などあれば御発言をお願いしたいと思います。</p>
鈴木委員	<p>資料17別紙の1「計画策定の背景等に関するもの」の4で「市民のプライドを高くするために、市民を市外に出さないということも考えられる」とありますが、「市民の愛着を高くするため、市内での生活時間を長くするための工夫というものも考えられる」と修正してほしいと思います。</p> <p>また、先ほどの2ページの10についても修正していただきたいと思います。</p> <p>9ページの10「旭前の新しい公園には緑が少ないと感じる。」について、この表現だと旭前の公園に緑を増やしてほしいといったニュアンスになると思いますが、旭前の公園には緑が少ない方がよいというのは、市民ワークショップ等で決まったことのように、それはそれで仕方ないので、その代わりに違う緑の部分を作らなければいけないと思います。それを踏まえた表現に修正してほしいと思います。</p> <p>次に、9ページの13「市内に公園格差があるため、1校区に1つ以上楽しい公園を」とありますが、「遊具の多い楽しい公園を」と修正してほしいと思います。</p>
荒谷委員	<p>9ページの11「草が生い茂っている公園は防犯上良くない」とあるところを、草だけではなく、「草木」としてはどうでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>11ページの1「「めざす姿」の主語が「市民や事業者」となっています」について、ここだけですます調となっているため、修正していただきたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>今の御意見を踏まえて修正をお願いします。</p> <p>それでは、今の御意見も踏まえ、私と企画課で答申を調製させていただき、次回の会議で皆様に御確認いただくこととして進めさせていただきますがよろしいですか。</p>
	(意見なし)
伊藤会長	<p>ありがとうございます。これで本日の議事事項は全て終了となりますが、この他委員の皆様から御意見等はございますでしょうか。</p>
	(意見なし)
伊藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後に次第の「その他」に移ります。</p>

	企画課から説明をお願いします。
企画課長	<p>それでは、連絡事項も含めて、2点御連絡いたします。</p> <p>まず1点目が、7月から8月にかけて実施したパブリックコメントの結果についてです。パブリックコメントでいただいた御意見と市の考え方を取りまとめましたので、公表をさせていただきたいと思います。ホームページへの公表は来週以降を予定しております。なお、本日皆さまには、参考資料11として配布をさせていただいております。</p> <p>次に2点目が次回の開催予定についてです。次回の開催日は、10月25日（水）の午後1時30分から、本日より同じこの講堂2で開催します。</p> <p>次回の会議は、答申内容を確認後、市長に答申書をお渡ししていただくことを予定しておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>企画課からのその他については以上でございます。</p>
伊藤会長	<p>次回の会議では、答申内容を確認するという事です。事前に事務局と調製させていただきますが、各委員の皆さんには、事前に案を送り、確認してもらおうということで良いですか。</p>
政策企画係長	<p>はい。なるべく早く調整し、事前に送付したいと考えています。</p>
伊藤会長	<p>ただいまの説明で、パブリックコメントについては、82件意見がありました。このパブリックコメントに関する事と次回の会議の日程について、説明がありました。</p> <p>委員の皆様から何か御意見等はございますか。</p>
鈴木委員	<p>パブリックコメントを見て、障がい者の方ですごくしっかりとした意見があり、すごく具体的であったため、次回こういった審議会があれば、障がいのある当事者の方に御参加いただいても良いのではないのでしょうか。</p> <p>意見を見て、知っている人しか出せない意見だと感じました。</p>
伊藤会長	<p>他にはいかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p>
伊藤会長	<p>企画課からは何かございますか。</p>
企画部長	<p>特にございませんが、本日の会議が、11時半までと皆さんに御案内しておりましたが、長時間にわたりしっかりと御議論、御審議いただきましてありがとうございました。</p>

	次回が最後の会議となります。皆様方におかれましては、大変お忙しい中かと存じますが、引き続きどうぞよろしく願いいたします。
伊藤会長	以上をもちまして、第3回全体会を終了いたします。 御協力ありがとうございました。